

将来の夢へ新たなる第一歩

協会創立50周年記念式典を挙行

スライドショーで50年を振り返る

当協会は今年創立50周年を迎え一連の記念事業を展開していたが、11月14日（プラスチックの日）に来賓、正会員・賛助会員、関係者合わせて244名が出席し『創立50周年記念式典』を盛大に開催した。

当協会は昭和32年11月5日に中部プラスチック成型工業会として設立以来、プラスチック製品製造業の合理化、技術開発、研究、技術指導、技術者・技能者の養成等を通じて、プラスチック産業の発展や、プラスチック製品の普及に努めてきたもので、平成12年4月より「社団法人中部日本プラスチック製品工業協会」に改称し、現在に至っている。

記念式典は、名古屋国際ホテルを会場に午後3時30分開会。大松副会長の開会の辞の後、物故会員に対して黙祷を行い、次いで挨拶に立った服部会長は、協会創立の趣旨、事業内容、創立50周年記念事業を紹介した。また1850年代に登場したセルロイドから現在に至るプラスチッ



厳粛に挙行された記念式典



来賓祝辞を述べる
中部経済産業局産業部次長鈴木秀和氏



神田愛知県知事より感謝状を受取る服部会長（左）

ク製品の進化にふれ、「私達の生活を豊かにしてくれたプラスチックは将来性、発展性が高い素材なので、これからもこの50年の経験を生かし自然や環境に優しさを与え、人間の豊かさのもとよりあたたかさ、ぬくもりをもって、プラスチック産業の歴史を築いていくことを目標に努めて行きたい」と決意を表明した。



愛知県知事賞を受ける後藤鉦一郎氏

来賓紹介の後、記念植樹を行った名古屋市工業研究所山下所長に、服部会長から高野楨2本と植樹記念碑の目録を贈呈。続いて功労者表彰、感謝状の贈呈と進められ、来賓3名より祝辞があり最後に後藤理事の閉会の辞で式典を終了した。

引続き服部会長が企画・製作を手掛けたスライドショー“50年を振り返って”が上映され、遡ること50年前から今日に至るまでの協会の歩みと並行して社会のできごとが実に味のある服部会長と式典の司会者山口弓佳さんのナレーションで語られ、さらにBGMスリーフェニックスの生演奏が映像を引き立てた。

第2部の祝賀会は、神田真秋愛知県知事の出席も得て進められ、はじめに服部会長から神田知事へ「愛・地球博記念公園」に設置された両面ポール型ソーラー式長波電波時計一式及びガーデンテーブル・ガーデンチェア50セットの目録が贈呈され、また神田知事より服部会長に感謝状が授与された。

引続き神田知事、衆議院議員江崎鐵磨氏（代理：江崎夫人）の祝辞があり、協会の歴史を讃えると共に「50周年は通過点、生活に密着したプラスチック産業の更なる発展を祈りたい」旨激励の言葉が贈られた。

このあと名古屋市工業研究所山下所長の音頭で乾杯が行われ、懇親に移った。会員らで構成するバンド「アロハ・ウクレレ」、スライドショーでBGMを務めた「スリーフェニックス」のステージでの演奏を楽しみ、スライドショーでのクイズの正解発表では、正解者に豪華賞品

が贈られた。和気藹々の雰囲気の中、中部プラスチック連合会磯野会長の発声中締めが行われ、記念式典及び祝賀会を閉会した。

〈役員功労者表彰〉

▽愛知県知事賞＝後藤鉦一郎（タイセイプラス）、鈴木啓之（鈴木化学工業所）、宇佐美教之（ウサミ化成）
▽名古屋市長賞＝瀬川憲（瀬川化学工業）
▽連合会長賞＝山下繁雄（マルエ産業）。

〈感謝状贈呈〉

▽歴代会長＝前田窈（山勝工業）、石原富祥（東海プラスチック工業）尾原成夫（オハラ樹脂工業）。

▽歴代専務理事＝前専務理事：山根圭二。

▽中部日本プラスチック職業訓練校講師＝平野幸治、高橋鉦次、黒部文仁、松原秀樹、白勢陸郎、中嶋慶二、中村秀雄、稲垣荘司。

▽事務局職員功労＝森 里子。（敬称略）



好評を受けたスライドショー



バンド演奏やゲームも行われ、一段と盛り上がった祝賀会

『将来の夢』を語り合う

創立50周年記念 座談会

10月16日に記念事業の一環として、名古屋国際ホテルで行われた座談会には13名が出席し、協会の50年のあゆみを振り返ると共に、先輩たちを受け継ぎ、後輩たちに志を継いで、次の世代へバトンタッチして行くべく将来の夢を語り合った。

座談会の進行役は元会長の石原富祥氏が務め、“感”が生きる成形技術から現在の新技術に至る技術の変遷の話題から入り、昭和35年頃には工業部品から日用・家庭用品の普及が目ざましくなった当時が思い起こされた。

座談会はこの後、▽自社の成長、発展のきっかけ▽協会に加入しているメリット▽受注生産という立場での経営の厳しい局面▽製造メーカーとしてのメリット、デメリット▽現在最大の課題とも言える原油高騰による材料の値上げへの対応▽求人難、海外進出への対応と企業の存続▽バイオマスプラスチックの将来性▽業界の将来像、自社の将来像▽今後の協会のあり方などをポイントに意見交換が行われ、最後に「協会の会員といっても商売については、それぞれ顧客との間で成立っている。しかし、お互いの悩みや解決策、或いは共通の課題など、腹を割って情報を交換し、自社の経営に役立ててこそ協会に加入しているメリットではないか？今後も意義ある協会として存続し、プラスチックを通じて世のため、人のために役に立って行きた



13名が出席して開かれた創立50周年記念座談会

い」旨の言葉で締めくくられた。

なお座談会の内容については、平成20年1月に発行の創立50周年記念誌に掲載を予定している。

電波時計の寄贈と記念植樹

11月6日には、両面ポール型ソーラー式長波電波時計（高さ約5.3m）一式とガーデンテーブル、ガーデンチェア50セットを愛知県に寄贈。設置場所の「愛・地球博記念公園」（モリコロパーク）に服部会長はじめ協会役員及び関係者らが出席してお披露目した。

一方記念植樹は11月8日に名古屋市工業研究所正門において行われ、協会役員及び山下所長以下研究所職員らも高野槇（こうやまき）2本の植樹に土を入れた。「高野槇」は、本州、四国、九州に分布する常緑針葉高木で、秋篠宮悠仁さまのお印となっている。



記念植樹を行う④名市工研山下所長と服部会長



時計台の前での記念撮影
後方はガーデンテーブルとチェア

チャリティゴルフ大会

46名が参加し腕競う

ゴトープラスチック **坂田武士氏が優勝**

創立50周年記念チャリティゴルフ大会が9月26、日三重県桑名市多度町にある東建多度カントリークラブ名古屋で開催され、8時49分アウト・イン同時スタートの各6組で46名が優勝目指して腕を競い合った。

快晴、無風、気温は30度近くまで上がり汗ばむ陽気で周年記念コンペを祝福するような好天気恵まれた。

前回の周年記念同様4つのショートホールでワンオンできなかつた時は、1ホール最低500



左が優勝した坂田武士氏

順位	会社名	氏名	OUT	IN	GRS	HC	NET
1位	ゴトープラスチック	坂田 武士	43	50	93	21.6	71.4
2位	丹羽トレーディング	丹羽 英昌	40	43	83	10.8	72.2
3位	いその	小島 秀夫	43	43	86	13.2	72.8
4位	マルシン化成	神丸 潤也	41	45	86	13.2	72.8
5位	藤和ライト	小川 博司	46	39	85	12.0	73.0

円のチャリティをお願いした。

プレー終了後パーティを開催し、表彰式を行い、記念コンペに相応しい豪華賞品が成績に応じて贈られた。

競技方法はダブルペリア方式で行われ、ゴトープラスチックの坂田武士氏が優勝の荣誉に輝いた。その他上位の成績は別掲の通りであった。

ボウリングは80名が参加

団体戦は中部エクストロン
個人戦は野田誠次氏が優勝

チャリティボウリング大会は、9月30日に「星ヶ丘ボウル」で開催された。日曜日にもかかわらず80名もの参加者があり、50周年を祝うのにふさわしい大会となった。

服部会長から50周年のあゆみが紹介され、参加者に御礼の言葉が贈られた。記念撮影をした

創立50周年チャリティボウリング大会順位表

(団体戦)

順位	会社名	得点
1	中部エクストロン	1328
2	オハラ樹脂工業(A)	1266(H60)
3	松井製作所	1250

(個人戦)

順位	氏名	会社名	得点
1	野田 誠次	中部エクストロン	379
2	長谷川 祐輔	松井製作所	372
3	石垣 保彦	東海プラスチック工業	354
4	服部 浩司	和泉化成	354
5	山田 美佐江	三扇化学	353(H60)

DJK 第一実業株式会社

本社 東京都千代田区二番町11-19 ☎ダイヤルイン・東京(03)5214-8500
 大阪支店 大阪市北区天満5丁目14番10号(梅田UNビル) ☎ダイヤルイン・大阪(06)366-2800(受付案内台)
 札幌支店 札幌市中央区南一条西3丁目8番地(札幌ビル) ☎(011)241-2435(代表)
 名古屋支店 名古屋市中区栄2丁目3番(名古屋栄7フロントタワー) ☎460-0003 ☎(052)201-5471(代表)
 広島支店 広島市中区中町8番12号(広島グリーンビル) ☎730-0037 ☎(082)248-0295(代表)
 営業所 仙台・静岡・四国・福岡
 出張所 滋賀・北関東

一生道のパートナー **第一生命**

それぞれの生き方に、
いつもベストな答えを。

しあわせな人生を、力強く支える保険

新「堂々」人生

第一生命保険相互会社
 ホームページ <http://www.dai-ichi-life.co.jp/>

後、服部会長の始球式でゲームがスタートし、2ゲームを競った結果、団体戦では中部エクストロンチームが、個人戦でも中部エクストロンの野田誠次氏が優勝した。

ゲーム後の成績発表は懇親パーティーの中で行われ、上位者、また入賞者には各賞が贈られ、和やかな雰囲気の中でお開きとなった。なお、パーティー席上で参加者に募ったチャリティ募金は31,030円に達した。



団体優勝した中部エクストロンチーム、右端は服部会長



個人戦上位者左から長谷川氏、野田氏、石垣氏

チャリティの収益金20万6,931円 中日新聞社会事業団に寄託

なお、ゴルフ大会とボウリング大会で集まったチャリティの収益金は、11月9日に服部会長が中日新聞社会事業団を訪れ寄託した。金額は206,931円に上った。

厚生労働大臣表彰を受賞 技能検定試験の推進に尽力



伊藤プラスチック研究所
伊藤義信氏
10月31日東京の明治
記念館「富士の間」に
おいて職業能力開発関
係厚生労働大臣表彰式

が行われ、技能検定関係功労者として正会員伊藤プラスチック研究所の伊藤義信氏が厚生労働大臣表彰を受賞した。

伊藤氏は現在技能検定委員会委員長の要職にあり、昭和61年から現在まで22年間技能検定委員として技能検定試験の推進に尽力し、その功績が認められ今回の受賞となった。

・・・ 製造事業所の皆様へ・・・

経済産業省
愛知県
名古屋市

経済産業省では、工業統計調査を平成19年12月31日現在で実施します。

工業統計調査は、製造業を営む事業所を対象として、その活動実態を明らかにすることを目的として調査します。

調査結果は、国や地方公共団体の行政施策の重要な基礎資料として利用されるとともに、企業、大学などでの研究資料、小・中・高等学校の教材など、広く利用されているところです。

皆様から御提出していただく調査票については、統計法に基づき調査内容の秘密は厳守されますので、正確な御記入をお願いします。



ISO 9001

TOYO

東洋機械金属株式会社
中部支店

〒465-0051 名古屋市名東区社ヶ丘1-1202
TEL (052) 704-4500 FAX (052) 704-3980



プラスチック用産業合理化機器メーカー

NAKAMURA

中村科学工業株式会社

本社工場 Head office & Factory

〒444-0051 愛知県岡崎市北野町字高塚101
TEL (0564) 31-2919
FAX (0564) 31-3435

東京支店 Tokyo branch

〒192-0054 東京都八王子市小門町8-37
TEL (0426) 20-5466
FAX (0426) 20-5461

URL <http://www.nakamura-kagaku.co.jp/>

平成19年度前期技能検定を実施 製品検査と採点会議



名古屋市工業研究所で行われた採点会議

平成19年度前期技能検定プラスチック成形射出成形作業1・2級の合格者が、10月10日愛知県職業能力開発協会から発表された。

各技能士の合格者数と合格率は、1級76名(22.2%、実技：22.1%、学科：65.5%)、2級286名(45.7%、実技：59.5%、学科：58.2%)で合計362名の技能士が誕生した。

今年は実技受検者数が789名に達し、昨年につき2級受検者を1日3人体制で実施した。

実技試験は今年も失格者と作業途中の棄権者を合わせると200名を超え、欠席者も含めれば実に実技受検者数の31.4%(248名)にも達する。次回に向けてこの現状の打開策が急務となる。

試験終了後の9月12日に製品検査・採点会議が実施された。今年は、昨年までお世話になった東郷製作所から名古屋市工業研究所に会場を

平成19年度後期技能検定受検申請状況

作業別	級別	受検区分						合計
		A甲	A乙	A丙	B	C	D	
プラスチック成形	特級	23	2		5	1		31
ブロー成形	1級	4			2			6
	2級	6			4	2		12
射出成形	3級	9			1			10

変え、検定委員、補佐員など総勢96名が参加した。検査ラインも5つから6つに増やし時間短縮を試みた。初めての会場でもあり照明の明るさなど諸問題もあったが滞りなく終了することができた。

合格率向上へ見直しを図る 技能検定委員反省会

平成19年度前期技能検定が、9月12日の採点会議(製品検査)で3ヶ月間に亘る日程が終わり、来年度に向けての反省会が、去る10月19日午後6時30分より名古屋国際ホテルにて、各事業所派遣の技能検定委員、来賓等合わせて40名が出席して開催された。

まず、後藤理事長から検定委員への長期間に亘る任務に対して、労をねぎらう挨拶からはじまり、引き続き臨席の愛知県職業能力開発協会技能検定課の渡辺課長より技能検定業務についてのお礼の言葉があった。

次いで、伊藤委員長より合格率等が発表され、特に1級実技合格率の低さと失格者が多いことが目に付くと指摘があり、さらには検定委員のアンケートの集計をもとに、来年度へ向けての問題点、実技試験実施方法などについて説明があった。

引き続き懇親の部に移り、服部会長の乾杯の発声ではじまり、和気藹々とした雰囲気の中で親睦が図られた。中締めでは児玉副委員長の挨拶があり、検定委員として相応しい行動をするという再認識が強調され、閉会となった。



乾杯の音頭をとる服部会長(右端)

中部日本プラスチック職業訓練校

見学レポート

いその 稲沢工場

〈瀬川化学工業 N・K〉

9月21日(金)に愛知県稲沢市にある、いその株式会社さんの稲沢工場を見学させていただきました。

生まれて初めて自分がたずさわっている成形材料の製造工程を見せていただいて驚いたのは、成形の時に不良品となって、回収された車のグリルやインパネなどを粉碎してもう一度ペレット化して出荷するという工程が行われているということと、ペレットを数種類におよぼ検査方法で精度などを正しく測って依頼してきた会社へ送るといったところです。

実際に工場を見学して、今まで見たことのない巨大なタンブラーという材料の機械がぐるぐる回っていたり、粉碎した材料を見た時に驚きました。そしてその材料で作られた車の部品や日用品を見た時にも凄いと思いました。

この工場見学で個人的に学んだことは、レジメーカーと呼ばれているこのような材料製造メ



製品の展示室を見学

ーカで作られた材料から、自分が働いている成形工場加工した成形品を車のメーカーや日用品の会社などに納入し、それが日常生活で使われていると思うとこの3社のつながりがないと生活できないんだなと思いました。

中部日本工業 本社見学

〈瀬川化学工業 Y・Y〉



玄関前での記念撮影

9月28日の午後「金型の構造」の授業で、金型の設計・製造を行っている「中部日本工業」の本社工場を見学した。

初めて金型ができるまでの工程をみて思ったことは、まず、どのような「物」を作るために、どのように「製図」するのか、それをどのような機械で切断するのか、どの部分がどのように組み付けるのかを見ていき、思っていた以上に頭の使う仕事だなどと思ったのが製図の作業で、パソコン画面を2つ使い、目が痛くなりそうな仕事内容で、大変な仕事だなどと思いました。

あと、「Wizaray-R」というソフトウェアを使って「立体模型」を見てみて、リアルに作ってあるなと感心しました。

成形不良率低減への提案

「ハングリー成形法」

株式会社 日本油機

〒229-0003 神奈川県相模原市東淵野辺4-2-2
TEL 042-757-6681 FAX 042-757-6683
E-mail: nihonyuki@sunny.ocn.ne.jp

MEIKI

株式会社 名機製作所

〒474-8666 愛知県大府市北崎町大根2
TEL (0562)47-2391(代) FAX (0562)47-2395
<http://www.meiki-ss.co.jp>

環境にやさしい「クルマ」の技術産業展

〈鈴木化学工業所 K・I〉

2007年9月7日にポートメッセなごやで行なわれた環境にやさしい「クルマ」の技術産業展に足を運んだ。今回の技術産業展は今問題となっている環境問題や限りある資源を深刻に考え一つ先に進んだ車の展示がされていた。

主にハイブリッドカー、クリーンディーゼル車、電気自動車、燃料電池自動車が大々的に取り上げられていた。

最近よく耳にする電気自動車は名前の通り電気を利用しバッテリーと電気モーターを原動力とするクルマで、環境にやさしく、静かで低コストという謳い文句で出展していた。しかし、私は環境にやさしいという点に疑問が生まれた。

確かに消費者はガソリンを使わない車に乗るので電気自動車を利用する消費者は環境にやさしいといえるだろう。ただ肝心の電気はどう作られているのか、劣化してしまったバッテリーの処理はどうするのか、など問題の紐を解くと必ずしも環境にやさしいとはいえないのではないだろうか。他の車についてもおそらく環境に



注目されるトヨタ自動車ブース

やさしいとはまだ言い切れないだろう。

環境と資源と車のバランスを考えネクストワンを常に考える世の中になって欲しいと感じた。

〈瀬川工業 Y・Y〉

私はあまり車には興味がなかったのですが、普段見ることのない「燃料電池」を使った車や「電気自動車」、「電動三輪車」などや、天然ガス、LPガスを使いたいかにも環境にやさしい自動車を見てみると、外見ばかりにこだわらず、内面にこだわりを持つようになったらいいなと思いました。

他にいろいろな大学が「ソーラーカー」やポートミライなものも展示していましたが、どちらかというところのほうがおもしろく思いました。



名古屋工業大学が出展した「ソーラーカー」

2007 メカトロテック・ジャパン

〈鈴木化学工業所 N・K〉

2007年10月19日に名古屋市・港区金城ふ頭にあるポートメッセなごやで開催された「メカトロテックジャパン2007」を見学しました。

会場は1号館、2号館、3号館とすごく広い会場をバラバラにちらばって見学しましたが、自分が見たのは1号館限定で「(株)アロマ&RDコーポレーション」と「株式会社MSI」と「セイロンジャパン」と「(株)ジェービーエム」のブースでしたが、自分の働く会社には樹脂の流動

PLASTICS WORLD
YAMASO

山宗株式会社

本社 名古屋市北区大曾根1-6-28 〒462-0825
TEL(052)913-6131 FAX(052)913-6138
東京支店・静岡本社・福井本社・香港・上海
営業所 岐阜・三重・豊橋・松本・甲府・埼玉・西東京
取手・浜松・沼津・金沢・富山・大分・京浜

射出成形を
トータルサポート

NISSEI 射出成形機・金型・金型製作ソフト・成形支援システム
日精樹脂工業株式会社
<http://www.nisseijushi.co.jp>

■名古屋営業所/〒485-0039愛知県小牧市外堀2-167 TEL(0568)75-9555(代)
■岡崎出張所/TEL(0564)52-1430 ■三重出張所/TEL(059)224-0716
■本社・工場/〒389-0693長野県埴科郡坂城町南条2110 TEL(0268)81-1050

／保圧／冷却／変形の解析を3D表示ソフトを出展していた「株MSI」だけが関係あるものでした。

でも、中国製ワイヤーカット装置を展示していた「株アロマH&RDコーポレーション」やCAD/CAMソフトなどを作っている「株ジェービーエム」等のブースを見ていてこの人たちが日本の工業技術の最先端を引っぱっていることを認識させられました。



記録づくめとなった「MECE'07」3号館会場

指導員研修で株ハーモ訪問 本社工場・伊那工場を見学

中部日本プラスチック職業訓練校講師研修の一環として、去る10月26日長野県上伊那郡南箕輪村にある株式会社ハーモを訪問した。

本社工場は伊那の環境に恵まれた広大な土地に、瀟洒な建物が建てられている。

株式会社ハーモはプラスチック射出成形機の成形品取出しロボット及び周辺機器の総合メーカーで、小型ロボットの国内シェアは40%を占めているそうである。取出しロボット以外に、ホッパードライヤー、ホッパーローダー、除湿

乾燥機、金型温調機、粒断機や各種成形品ストック装置、コンベアの生産を行っている。

環境の時代に対処するため、環境ノイズの削減、モジュール化の推進、互換性の向上などに注力している。

新製品の粒断機はいわゆる成形品の粉砕機で、回転刃を用いた普通の粉砕機とは異なり、静電気、ミスカット、騒音の発生を抑えるため、独自に開発されたプレスカット方式を採用している。

本社工場は製品ごとに区分けされたスペースで組み立てが行われているが、作業者の数は想像以上に少なかった。また、工場の一角には数十年は使用したと思われる古い機械が、修理のために持ち込まれていたが、これも驚きであった。

本社工場の見学後、伊那工場を見学したが、この工場は、粒断機の生産を行っている。工場内には射出成形機が5台ほど設置されていて、成形機ごとに設置された粒断機の作動状況も見ることができた。



見学先のハーモ本社工場で

工業薬品・合成樹脂・食品添加物・包装材料



睦物産株式会社

〒450-0002

本社：名古屋市中村区名駅5丁目23番5号
TEL 052-571-5121(代) FAX 052-565-0346

支店：東京・大阪 営業所：静岡

ISONO

いそのプラスチック材料

有限なる資源を限りない人生の幸福のために

いその株式会社

名古屋市東区相生町55 〒461-0012
TEL (052) 931-1211(代)
FAX (052) 930-1975